

## 第45回品質保証検討会 議事録

1.日時：平成28年3月1日（火）13時30分～15時55分

2.場所：（一社）日本電気協会 D会議室

3.出席者：（敬称略，順不同）

○出席委員：鈴木主査(中部電力)，新田(富士電機)，松山(三菱重工業)，近藤(東京電力)，水嶋(東北電力)，辰巳(北陸電力)，米澤(九州電力)，須河内(電源開発)，山田(中国電力)，鳥海(GNF-J)，山内(JAEA)，村上(JANSI)，渡邊邦(JANSI)，牧(リサイクル燃料貯蔵)

計14名

○代理委員：千葉(日立GE・野村代理)，西山(東芝・谷代理)，永尾(三菱電機・大谷代理)，梶原(四国電力・石川代理)，友田(IHI・佐野代理)，梁瀬(三菱原子燃料・小又代理)

計 6名

(小計20名)

※欠席委員：秋吉(関西電力)，島津(北海道)，植木(原燃工)，若山(日本原燃)，志賀(日本原子力発電)

計 5名

○常時参加者：上田(三菱重工業)，齋藤(JANSI)，首藤(電源開発)，田村(東京電力)

計 4名

○事務局：美馬(日本電気協会)

計 1名

(出席者合計25名)

### 4. 配付資料

- 資料 45-1 品質保証検討会委員名簿
- 資料 45-2 第44回品質保証検討会議事録（案）
- 資料 45-3-1 平成27年度 JEAC4111 講習会の実施結果について（報告）
- 資料 45-3-2 平成28年度 JEAC4111 講習会等 計画、平成27年度 同 実績
- 資料 45-3-3 平成28年度コースIV（ワークショップ）の進め方
- 資料 45-3-4 JEAC4111 コースIV講習会(ワークショップ)実績一覧
- 資料 45-4 原子力規格委員会 品質保証分科会 平成28年度活動計画(案)
- 資料 45-5 原子力安全のためのマネジメントシステム規程(JEAC4111-2013)の適用指針[JEAG4121-2015]正誤表
- 資料 45-6-1 アンケート結果に基づく課題整理（案）
- 資料 45-6-2 規格策定についてのアンケート結果まとめ表
- 資料 45-7 品質保証分科会からのお願い
- 参考資料-1 技術評価対応要領（日本電気協会 原子力規格委員会 運営規約細則 添付-6）

### 5. 議事

#### (1) 代理出席委員の承認，定足数の確認，委員等の交代

事務局より，千葉氏(日立GE・野村代理)，西山氏(東芝・谷代理)，永尾氏(三菱電機・大谷代理)，梶原氏(四国電力・石川代理)，友田氏(IHI・佐野代理)，梁瀬氏(三菱原子燃料・小又代理)が出席していることを紹介し，主査の承認を得た。なお，千葉氏は野村委員の後任であり，正式には次回品質保証分科会で承認を得る予定である旨を説明した。

事務局より、本会議は確認時点で、代理を含め委員 25 名中 20 名が出席であり、議案決議に必要な定足数（委員の 3 分の 2 以上＝17 名以上が出席）を満たしている旨報告された。

(2) 配付資料の確認

事務局より、本日の配付資料を説明し、各自確認した。

(3) 前回議事録の確認

資料 45-2 前回第 44 回議事録(案)は、開催後に出席者間でメールによるレビューを受けているが、内容を改めて主査から説明し、挙手にて承認された。

(4) JEAC4111 講習会の平成 27 年度実施結果および平成 28 年度実施計画（案）

JEAC4111 普及・促進チームリーダーより、資料 45-3-1,2 に基づき、コースⅡを東京・大阪各 1 回とする案とすること等の概要説明があった。

<主な意見・コメント>

- ・コースⅡの東京と大阪の 2 回開催について、26～27 年度は JEAC、JEAG の改定もあり受講者が集まったと思うが、改定のない来年度はさほど多くはないのではないかと。最低催行人数という考えはないのか。
- ・講習会の採算性というより、受講者の声に応える形で利便性を向上させるのが目的。
- ・基本的にはコースⅡⅢⅣのトータルで判断することとしており、普及促進を図る目的に沿ってやっていただいている。（事務局）
- ・2 回あれば、職場が出したい時に受講者を出せるメリットはある。
- ・コースⅡは、新しく異動して来た人等の受講がある程度見込める。
- ・来年度 2 回やってみて、無理なようなら再考するので良いのではないかと。

→資料45-3-2の内容で分科会資料とすることを可決。

ワークショップ検討タスク副主査より、資料45-3-3,4に基づき、コースⅣをワークショップ形式に戻す考え等について説明があった。

<主な意見・コメント>

- ・リスクマネジメントについて話してもらえる良い候補者がこれまでにいなかった。
- ・講演者をよその人に頼むということはしないということだと思う。
- ・講習会の最上位の位置づけで、基調講演は中條先生にやっていただくことになる。
- ・ニーズからいうと、良好事例よりも各社の共通課題や不適合管理等がいいのでは。
- ・ニーズを吸い上げる、持ち寄ることはできないか。
- ・情報共有は色々な場でやっているし、セクター毎に置かれている状況が違う。要は我々のcontextは何かということで、現下の我々の置かれた位置をよく考えてやるべき。

→資料45-3-3,4を分科会に提案することを可決。

(5) 平成28年度 品質保証分科会 活動計画（案）について

全体サブチームリーダーより、資料45-4に基づき説明。関連して資料45-7「品質保証分科会からのお願い」を説明。

<主な意見・コメント>

- ・規格を引用しているところから、JEAC4111を改定したら何で言ってくるのかと言われるなど、以前から問題はあった。古いJEAC4111を引用していて、改定されていない規格がある。引用しているところが見るのが当たり前だと言いたいが。
- ・他の検討会にはJEAC4111との適合を検討するメンバーが揃っていないという事情もある。
- ・今回、昨年12月の規格委員会に際し、中條先生が疑問に思いご下命があったため、急きょ役員他が動いた。今回は特例で、今後は最低でも検討会の全体チームには情報

を流して意見を言ってもらおうようにする。一部の人のみではやれないので、ルールを作ってそれに則って審議していく。また、レビューさせてもらったら賛成ということではない。

- ・受け皿は分科会であることは間違いない。規格委員会に報告・上程されたら、中條分科会長が反対、保留意見を述べるができる。  
→それは規約上の話であり、レビューは規約に載らない水面下の話。
  - ・今回は、規格委員会に中間報告された規格改定案について、変えられるところは変えて残りは次回改定時にということで収まった。直接JEAC4111を引用してなくても、PDCA、安全文化、リーダーシップ等広い意味で関係する規格は多い。直接引用している場合に限るのか、ベース規格として多くに関わるのかをはっきりさせる必要がある。スタンスとして、「規格を作る人達がJEAC4111を勉強しろ」の『待ち』なのか、「見てあげるから持って来なさい」なのか。とはいえ、分厚い規格を見て貰いたいと持ってこられたら、品証の皆さんが困ることになる。(事務局)
  - ・我々が知らないところで間違って使っているのは、いくら何でもないだろうということ。我々が調べる責務はない。「ご一報下さい、必要に応じて対応します」だろう。
  - ・資料45-7は、スタート段階から相談するという他分科会への意識付けと認識。「レビュー」というと「事前に持って来い、審査するぞ」と解釈できるため、表現を変えた方がいいのでは。(事務局)
  - ・「確認させていただきます」にした方がいい。
  - ・我々が意見を言ったことが取り入れられないで委員会に出されても、踏み込めない。  
→踏み込めないが、間違ったことを書いていたら、規格委員会の段階で分科会長が反対投票することができる。
  - ・そうすると「レビュー」に近いが、元来は「ご相談に応じます」だろう。
  - ・「引用を行うような場合には、ご連絡をいただければ、必要な確認を行います」とか。
  - ・活動計画(案)の「当該分科会と連携を図る」も修正が必要。分科会同士で話し合うのか、それとも担当者間で連携を図るのか。
  - ・組織的には分科会同士の横串はない。上位の規格委員会で意見が出ることになる。ただ、規格委員会に報告するまで検討が進む前の早い段階で、個々に相談して欲しいということ。(事務局)
  - ・「連携」では強すぎる。各分科会には我々の意見を聞く義務はなく、あくまで自主的に策定するもの。
  - ・「連携」は対等な立場な感じがするが、先方が主。活動計画(案)は「品質保証分科会からのお願い」と同じ表現でいいのではないか。
- 資料45-4, 7を「他分科会からの要請に基づき、必要に応じて確認を行う」という趣旨に修正して分科会資料とすることを可決。  
資料45-7は、各分科会の代表が集まる規格策定方針検討タスクで紹介することとした。

#### (6) JEAG4121-2015の誤記対応

誤記対応取纏めの委員より、資料45-5に基づき、説明。

<主な意見・コメント>

- ・「また、」は要らない。
  - ・削除する。備考欄の「誤記修正」も削除する。
- 資料45-5を修正して分科会資料とすることを可決。

#### (7) 各チームの活動状況

JIS Q 2001:2015検討WG主査より、WGの活動状況について、口頭にて報告。1月21日に開催し次回は3月9日(水)10:00から開催予定。1月と合わせ抽出した課題を4月26日(火)13:30から中條先生に報告し、意見交換をする予定。

9章チームリーダーより、口頭にて報告。9章チームは12月18日に名古屋で開催し、講習会の反省と、GSR Part2の内容確認を実施した。誤記チェックを沢山出していただき、その中で直した方がいいのは先程の議案とした。

主査より、資料45-6-1,2に基づき説明。Q3に対する各委員の回答は分科会に係わるため詳細に記載し分科会にかける。

<主な意見・コメント>

・資料45-6-1のⅢ. 2. 自主的な安全の達成・維持・向上への方針転換が不徹底に終わった面があったという記載は説明しづらい。

→「自主的な安全の達成・維持・向上を達成するため、技術基準と民間規格との関係を整理する必要がある。」に修正する。

→資料45-6-1を修正して分科会資料とすることを可決。

(8) その他

JEAC4111のエンドース作業が始まる可能性があることから、事務局を交えて情報交換。技術評価対応要領が最近制定されているので、注意する必要があるとのこと。

参考資料-1は配付のみ。

松山委員(三菱重工)は、本人の申し出により、8章兼務を外れて9章専任になる。(8章がチームは了承済)

以上